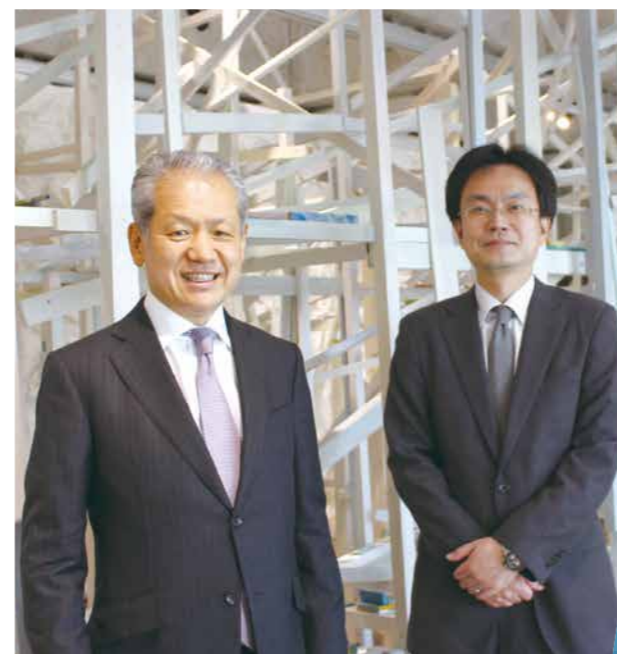


文化庁

地域文化創生本部だより

新・文化庁に エール

大垣書店グループ
大垣代表に聞く
「京都で輝く“新・文化庁”」



京都を中心に39店舗を展開する大垣書店グループは、創業80周年記念事業として昨年11月にアートと交流をテーマとする「堀川新文化ビルディング」をオープン。1950年代に日本初の鉄筋コンクリート造店舗付き集合住宅として建設された堀川団地の再生事業の一環として、書店にカフェやギャラリーなどを併設し、文化のプラットフォームを目指す。地域に根差した新たな挑戦に取り組まれる大垣守弘代表に、出版・書店業界の将来像や来年春に京都において業務開始を目指す新・文化庁へ期待することなどを、文化庁 地域文化創生本部の安井順一郎前事務局長がお伺いしました。

今回インタビューさせていただきました事務局長の安井順一郎は1月1日付で文部科学省 初等中等教育局教科書課長に異動となりました。在任中は大変お世話になり誠にありがとうございました。次号からは後任の高田行紀が京都企業のトップの方にお話を伺いいたします。

【文化庁 地域文化創生本部】TEL:075-330-6720(代表) 東山区東大路通松原上ル三丁目毘沙門町43-3

出版・書店業界の課題や将来像を
お聞かせください

ピーク時には全国で2万4千店舗あった書店は、現在1万を割り込んでおり、今なお減少傾向にあります。さらに、全自治体の2割強にあたる400を超える市町村には書店が一つもないとも言われています。ネット書店には在庫量では勝つことは出来ませんが、書店を訪れて、ふとしたきっかけで別のジャンルの新しい本の出会いがあるのが街の書店の魅力です。地方の個人書店は厳しい経営環境に直面しており、後継者不足の問題もあります。地域に必要とされる書店文化という灯を消さないためにも、独自の文学賞の創設や11月1日を「本の日」と制定するなど、業界を挙げて様々な取り組みに力を入れています。



大垣書店グループ 大垣代表



一方で、出版不況により最近はお作家を志す人が減ってきています。誰でも自由に無料で本を読むことが出来る図書館の公共的な役割は十分に理解していますが、新刊書籍やベストセラーの本が買われず、図書館での貸し出しが増え続けると、本が売れずに作家にも印税が入りません。音楽の著作権使用料のように、図書館でも購入する書籍の貸出利用回数に応じて課金されるような仕組みがあれば、作家も安心して創作活動が出来るようになるのではないのでしょうか。

堀川新文化ビルディングが目指すものは

今回のコロナ禍では、目先の商売だけではなく、新しいイノベーション



文化庁 地域文化創生本部 安井前事務局長

を起すことも文化の力であることに気づかされました。竣工式の際、宮司さんより、「文(書物)」から新しいものが「化」けるのが「文化」であり、文化は次のあるべきことを指し示すものだとおっしゃっていただきました。文化と一言で言っても幅が広く、地域社会に役に立つ実験的な試行錯誤の場として、2階にギャラリー「NEUTRAL(ニュートラル)」を併設しました。このギャラリーはアートだけに特化したものではなく、地元の方が散歩がてらに立ち寄って、いつ来ても新たな刺激を受けられるようなジャンルにとらわれない場を目指したいと考えています。このため、1階の書店も通好みの尖ったラインナップとはせず、対話型書店をコンセプトに地元のお客様のニーズに応えられるような品揃えを心がけています。また、書店内に印刷

工房も設け、自費出版のお手伝いもしています。西陣織などの伝統工芸とコラボレーションした世界でただ一つの書籍もここから生み出されることを期待しています。

新・文化庁にはどのようなことを期待されますか

文化という幅が広く、守り続けることも大事ですが、新しいものを創り出すことも重要です。書店経営者として長年、文化産業に従事していますが、これまで、文化行政と経済界との接点がありませんでした。折角、文化庁が京都に移転して来るので、京都の歴史や伝統文化を次世代に伝えながら「文化×産業」の取り組みを進めたいですね。また、我々も文化庁が京都に来るからと言って、京都のためだけ何かを期待するだけではなく、文化庁が移転することで一緒に何を生み出しているのかを考えたいと思います。堀川新文化ビルディングも新・文化庁とは至近距離にありますので、ぜひ何かコラボレーションできればうれしいです。

ようこそ!わが社のギャラリーへ

書店の2階にあるこの空間は、文化と人との出会いの場、異なる立場や表現が共存する場所として誕生しました。まるで書店に立ち寄るかのよう「アートや文化を創出・発信するギャラリー」「地域と世界をつなぐイベントスペース」として新たな文化を堀川より発信します。

入館料 無料 開館時間 10:00~20:00 (企画展ごとに設定)

※最新の企画展情報はHPでご確認ください ※30㎡1日1万円~レンタル利用も可能です

堀川新文化ビルディング/ギャラリー&イベントスペース「NEUTRAL」

〒605-0851 京都市上京区白旗町287(堀川商店街北側/堀川中立売下ル西側)
TEL:075-431-5537 <https://horikawa-shinbunkabldg.jp/>

